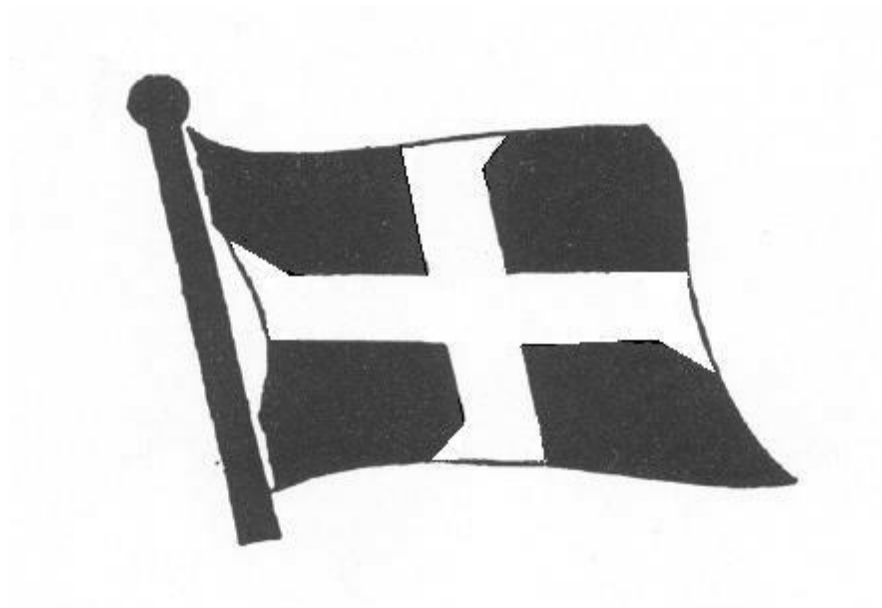


蒼穹 NEWS

No.7

第7号

令和6(2024)年12月09日発行



－目次－

- ①長距離パートチーフ挨拶・監督挨拶
- ②関西学生駅伝結果
- ③関西学生駅伝総括
- ④京都学生駅伝結果
- ⑤京都学生駅伝総括
- ⑥その他ご報告

① 長距離パートチーフ挨拶・監督挨拶

《4 回生長距離パートチーフ挨拶》

平素より京都大学陸上競技部へ多大なるご支援・ご声援をくださり、誠にありがとうございます。去る11月16日、京都府北部丹後地域にて行われました第86回関西学生対校駅伝競走大会において、京都大学は来年度のシード権獲得となる10位を目標に臨みましたが、結果は10位の大阪大学に1分11秒遅れての第13位という成績に終わりました。1区でアクシデントがあり出遅れ、その後も流れに乗ることができず5区で繰り上げとなってしまう、後半追い上げるも、追いつくことはできませんでした。練習通りの力を出そうとすれば目標は達成できるという予想でしたが、本番で力を発揮できない弱さや、多少のアクシデントは付き物である駅伝において、全員がきちんと力を発揮できないと関西で10番にも入れないチーム状況であるという現実を突きつけられる結果となりました。

今年は伊勢予選に出場できず、丹後駅伝ではシード権を逃すなど、昨年以前と比べて大きく結果を落とすこととなってしまいました。長距離を牽引してきた代が抜け、厳しい戦いになるということは昨年から言われていましたが、それを覆すことはできませんでした。一方で、原(M1)はエース区間の1つである7区で3位と、京大の歴代のエースに劣らない結果で5年間の成長を示し、1区の小野(1)はアクシデントで終盤失速したものの、長い距離のレースに対しても確かな手応えをつかむなど、来年以降に向けて明るい兆しも見られました。加えて、この1年で下回生を中心に多くの選手が自己ベストを更新しており、チームとして着実に成長していることも事実であると考えています。来年以降も、チームの全員が継続的に力を伸ばし、次こそは目標を達成してほしいと思います。

今年は、関西女子駅伝で国公立トップという目標を達成した女子選手や、各対校戦で好成績を収めている競歩選手など、男子駅伝以外の種目での活躍も見られ、苦しい中でも嬉しい結果が多い1年でした。今後も、長距離パートの一人一人の成長・活躍を期待しています。

最後になりましたが、この大会に向けてご支援、ご声援を賜りました蒼穹会の皆様、関係者各位にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。今後ともより一層のお力添えをよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部 4 回生長距離パートチーフ 斎藤 優成

《3 回生長距離パートチーフ挨拶》

平素より京都大学陸上競技部にご支援・ご声援いただき誠にありがとうございます。今年 1 年、長距離パートチーフを務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

関西学生駅伝が終わり、12 月 1 日に長距離の代替わり後初の対校戦となる京都駅伝が行われました。対校の部の中で 8 位を目標にして臨んだものの、結果は 11 校中 9 位、8 位まで 3 分 9 秒差と大きく差をあげられ目標達成とはなりませんでした。駅伝全体を見ると、1 区は 10000m 未経験の中で前が見える位置で繋ぎ、2 区、3 区で前を追い、4 区、5 区で繋ぎ、6 区が最後勝負するという形で、全員が役割を果たした駅伝ではありました。経験の浅い選手の多い中で誰もが大きく遅れることなく、最後 6 区の活躍もあり京都工業繊維大との争いに競り勝ちました。また他の区間でも長い距離のレースの経験がない中で、それぞれ収穫のあるレースであったと言えます。

しかし全員が大きく遅れることがなかったものの、11校中9位という結果であり、関西他校に後れを取っていることを痛感することとなりました。次の試合に目を向けると、来年の伊勢予選の記録審査を突破するためには今回の京都駅伝を走った選手がさらに力をつける必要があります。それだけでなく、複数名の選手が関西の上位層と戦えるようになり、またチーム全体としても底上げしていく必要があります。現在長距離パートに所属する部員数は少なく、層の薄さに悩まされていますが、裏を返せば誰もが長距離パートの次の主力になる可能性があります。来シーズンを見据え冬季練を乗り越え、全員で強くなって京都インカレ、関西インカレを迎え、そして伊勢予選出場を決めきりその舞台で戦いたいと思っております。

最後になりますが、丹後大学駅伝、京都学生駅伝では多くの蒼穹会員の皆様に多大なご声援をいただきありがとうございました。長距離パートが一丸となり、次の目標に向けて精進し、チームとして好結果を残せるよう邁進してまいります。今後とも変わらぬご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部 3 回生長距離パートチーフ 稲田 正裕

《監督挨拶》

11/16(土)に丹後大学駅伝、12/1(日)に京都駅伝が行われました。

丹後駅伝では目標 10 位としながら 10 位とは 1 分 11 秒差で 13 位、京都駅伝では目標 8 位で 3 分 9 秒足らず 9 位という結果でありました。

昨年それまで主力として長距離を率いてきた選手たちが卒業し、今年は 1 年間を通して新たな強さを得るべく鍛錬してまいりました。しかしながら、現実には上がり続ける関西のレベルに追いつくことができていない状況にあります。そこに追いつき追い越していくためには、まだまだチームとして取り組みは甘く、改善の余地は多くあります。来年以降再び関西の上位で戦うために、また 1 年間チームとして考え、動き、成長していきます。

蒼穹会の皆様におかれましては、多大なご支援ご声援に感謝申し上げるとともに、より一層のご期待をよろしくお願いする次第であります。

また 4 回生は重圧のかかる 1 年間をよく走り抜いてくれました。この 1 年間は結果によって無駄になることはなく、これからの発展の地盤であり、礎であります。彼らの足跡がチームの栄光の道標となるよう、精進して参ります。

京都大学陸上競技部監督 島村 夏惟

② 関西学生駅伝結果

第 86 回関西学生対校駅伝

令和 6 年 11 月 16 日

京都府丹後地域

大学別順位

順位	チーム	記録
1	京都産業大学	3:47:52
2	関西学院大学	3:50:15
3	立命館大学	3:50:53
4	大阪経済大学	3:51:22
5	関西大学	3:52:08
6	同志社大学	3:57:53
7	龍谷大学	3:59:35
8	神戸大学	3:59:35
9	近畿大学	4:00:54
10	大阪大学	4:01:39
11	摂南大学	4:02:10
12	びわこ学院大学	4:02:23
13	京都大学	4:02:50
14	大阪国際大学	4:04:13
15	大阪公立大学	4:07:38
16	大阪体育大学	4:08:02
17	佛教大学	4:10:11
18	大阪学院大学	4:10:22
19	大阪教育大学	4:11:41
20	甲南大学	4:13:46
21	兵庫県立大学	4:18:42
OPN	青山学院大学	3:46:30
	放送大学関西	DNS

京都大学各区分順位

区分	走者	区分順位	チーム順位
1	小野 竜之介 (1)	16	16
2	三嶋 友貴 (4)	15	15
3	照山 潤 (3)	14	15
4	服部 来羅 (3)	18	16
5	尾原 翔 (M1)	8	14
6	梅原 佑介 (4)	15	14
7	原 圭佑 (M1)	3	13
8	稲田 正裕 (3)	10	13

③ 関西学生駅伝総括

○第1区(9.9km)

小野 竜之介 (1)

32:12 区間 16 位

一区には小野(1)が出走した。

8キロ過ぎまではライバルの神大阪大と共に冷静にレースを進めていたが、8キロ過ぎに右胸にアクシデントが起こり、残り2キロ近くは阪大神大から1分近く離れる厳しい走りとなってしまった。自信を持って臨んだ今回の1区であったが、初めての丹後は苦しい走りとなってしまった。(小野)



1回生ながら見事に1区を走り切った小野(1)

○第2区(11.8km)

三嶋 友貴 (4)

38:34 区間 15 位

2区には三嶋(4)が出走した。

10位から約1分差の16位で襷を受け取ると、3.5kmほどで一つ前の大体大をかわすも、その後は前も見えぬまま単独走が続いた。結果的に10位から更に1分ほど差を開かれる形で3区に襷をつなぎ、この区間で流れを取り戻すことはできなかった。(三嶋)



エース区間を走った三嶋(4)

○第3区(5.6km)

照山 潤 (3)

18:26 区間 14 位

3区には3回生の照山が出走した。

去年好走した経験を活かして10位との差を縮めることが期待されていたものの、終始単独走で後半は苦しくなり、10位との差を広げる結果となった。(照山)

○第4区(9.5km)

服部 来羅 (3)

31:46 区間 18 位

4区には服部(3)が出走した。

ターゲットとしていた大阪大学、神戸大学とは大差で襷を受け取ることとなった。前も後ろも見えない単独走となった中、序盤は設定タイム通りに走るも、3k手前の左折後にリズムを崩し、5キロ以降失速した。何とか最後まで走り切ったものの襷を繋ぐことができず繰り上げスタートに。非常に悔しい走りとなった。(服部)

○第 5 区(9.4km)

尾原 翔 (M1)

30:19 区間 8 位

なだらかな平地を走り、終盤に急勾配が待ち構える 5 区には尾原(M1)が出走した。

僅かな差で櫂がつながらず繰り上げとなってしまう中、落ち着いて後方からスタートし、徐々に前へと位置を上げていく。4 km過ぎで繰り上げとなった他大学を振りほどき、5 km過ぎで先行していた大阪公立大をとらえる。

そこまでは周囲の選手のリズムを借りて快調に飛ばすが、単独走となった 6 km過ぎからはペースを徐々に落とした。それでも 7 km~9 kmでは得意の上り坂への適正を発揮し、第 4 中継所では 400m 近く前を走っていた摂南大学を視界にとらえるに至った。最後は下り坂でスパートをかけて無人の第 5 中継所へ飛び込んだ。シードを争う大学を相手に区間順位では上回ったものの、大きく差をつけることはできず、流れを京大に引き寄せきることはできなかった。(尾原)



登り区間で好走を見せた尾原(M1)

○第 6 区(6.3km)

梅原 佑介 (4)

20:46 区間 15 位

6 区には梅原(4)が出走した。

繰り上げスタートした集団は前半からある

程度のハイペースで進み、前半は予定より速く推移した。しかし、後半まで脚がもたず、ただただゴールを目指すのがやっとという走りになった。

個人としてもチームとしても悔しい結果となってしまう、今なお、心の整理がついていません。それでも、あの日できる最大限の走りができたのは本当に多くの応援のおかげでした。幸せな 6.3km をありがとうございました。(梅原)

○第 7 区(11.8km)

原 圭佑 (M1)

36:57 区間 3 位

7 区は原(M1)が出走した。

9 位神戸大以下のチームが繰り上げとなり、序盤は大集団でレースが進んだが、1 キロ過ぎの下り坂で抜け出すと、その後は終始単独走となった。序盤は快調に走れていたものの、3 キロ過ぎからは強い向かい風の影響で、想定より若干遅れるラップを刻み続けることとなり、後ろとの差を広げきれずに第 7 中継点に到達することとなった。個人として区間 3 位を獲得し、昨年からの成長を見せることは出来たが、目標の 10 位を射程圏内に捉えるには至らず、力不足を痛感する結果となった。(原)



区間 3 位を獲得した原(M1)

○第 8 区(10.4km)

稲田 正裕 (3)

33:50 区間 10 位

8 区は稲田(3)が出走した。

6 位までが繰り上げスタートとなる異例の展開でスタート時 13 位、10 位である大阪大との差は 2 分 33 秒であった。強風のため飛ばしていく選手がおらず、集団は 3'20 程のスローペースで推移した。5km の給水ポイントで集団が少しペースアップし大阪大が大きく遅れた。8km 通過で龍谷大と同志社大の 6 位争いが激化し 1 つ後ろの集団でレースを進める。残り 1km の上り坂でペースが落ちたが後ろの集団から抜け出し 10 位でゴールした。最

終的に自分の区間で順位を上げることが出来ず期待されていた役割を果たせなかった。(稲田)



最終区間の仕事を果たした稲田(3)

④ 京都学生駅伝結果

第 9 1 回京都学生駅伝競走大会

令和 6 年 12 月 1 日

京都府洛北地域

大学別順位

順位	チーム	記録
1	京都産業大学	2:13:41
2	龍谷大学	2:17:50
3	同志社大学	2:20:15
4	立命館大学	2:21:25
5	明治国際医療大学	2:22:34
6	佛教大学	2:22:58
7	京都教育大学	2:24:59
8	びわこ成蹊スポーツ大学	2:26:27
9	京都大学	2:29:36
10	京都工芸繊維大学	2:29:42
11	京都府立大学	2:37:10
OPN	京都産業大学B	2:16:33
OPN	大阪国際大学	2:19:14
OPN	大阪経済大学	2:19:27
OPN	同志社大学B	2:27:35
OPN	大阪公立大学	2:32:40

京都大学各区分順位

区分	走者	区分順位	チーム順位
1	佐向 丘 (2)	11	11
2	伊藤 寿真 (3)	9	10
3	柴折 心汰 (2)	9	10
4	安藤 誉純 (1)	10	10
5	高橋 侃凱 (M2)	9	10
6	八木 皓星 (2)	6	9

⑤ 京都学生駅伝総括

○第1区(10.0km)

佐向 丘 (2)

34:37 区間 11 位

1区には佐向(2)が出走した。

スタートからハイペースでの展開となり、苦しい展開となりました。4km手前で大きく失速してから他大との差を縮めることができず、下りに差し掛かってからは持ち直したものの8位と2分以上離された11位に終わった。他大のペース格との実力差を痛感する悔しいレースとなった。

一方で、10kmを集中して走りきれたことは、今後につながる大きな収穫となった。(佐向)

○第2区(6.0km)

伊藤 寿真 (3)

19:23 区間 9 位

2区には伊藤(3)が出走した。

前2大学の京都工芸繊維とは56秒、大阪公立とは40秒差で、差がある状態でのスタートとなった。持ちタイムでは優位という事前情報に基づき、自分の走りをする中で順調に距離を詰め、京都工芸繊維を4k差し掛かる前には抜き、大阪公立は残り1.5kを切る前には20mほどまで詰めた。しかし、残り1kを切った後の橋の折り返しでリズムを完全に失い、最後の直線で立て直すことができず失速したまま3区へ襷を繋いだ。(伊藤)

○第3区(7.3km)

柴折 心汰 (2)

24:02 区間 9 位

3区には柴折(2)が出走した。

中距離パートからの参加となった。レース序盤、工織に追いつかれるも中盤以降並走が続いた。後半の下りで少しペースアップするが、なんとか粘りを見せラスト600mで得意のスパートをかける。全体10位のまま安藤(1)に襷を渡した。目標としていたタイムでまとめたものの、慣れない距離に実力を十分に発揮することはできず、今後の成長の糧となるレースとなった。(柴折)

○第4区(7.3km)

安藤 誉純 (1)

25:30 区間 10 位

4区には安藤(1)が出走した。

繰り上げはなんとか避けて襷を受け取ったが、そのまま単独走となり、京都工織、同志社Bに放されていく展開となった。その後も、ペースを大きく落とすことはなかったが、襷を繋ぐことはできなかった。(安藤)

○第5区(5.0km)

高橋 侃凱 (M2)

18:21 区間 9 位

5区には大学駅伝初出場の高橋(M2)が出走した。

第4中継所にて襷が繋がらず、他大学との同時スタートとなった。序盤は、集団の力を使いながら予定通りに進めていったが、2kmを過ぎて集団から離れだしてからは厳しい走りとなった。京都工芸繊維大学との差を20秒詰めたものの、びわこ成蹊スポーツ大には差をつけられてしまう結果となり、実力不足を痛感するレースとなった。(高橋)



6年間を戦い抜いた高橋(M2)

○第6区(8.2km)

八木 皓星 (2)

27:43 区間6位

6区には八木(2)が出走した。

10 チームほどが同時に繰り上げスタート。
同志社 A が抜け出し、工繊同志社 B 佛教明
国医と繰り上げ 2 番手集団を形成する。1km
過ぎで抜け出すも 4km 手前で同志社 B 名

代・佛教村山に追いつかれ、離される。5km
過ぎで立命館中田に追いつき、並走を続ける
が両者下りでペースが上がらず、7km 過ぎで
明国医島袋に追いつかれ最後の上りを迎える。
明国医とは大きな差をつけられるも立命館は
射程圏内で競技場に入り、残り 100m で立命
館を捉えゴールした。(八木)



立命館大学をかわしてゴールする八木(2)

⑥ その他ご報告

関西学生駅伝及び京都駅伝に応援に駆けつけてくださった蒼穹会の皆様におかれましては、
ご多忙のところまことにありがとうございます。

直接お礼を申し上げられなかったため、この場を借りて感謝申し上げます。

今回の京都駅伝をもちまして、今年度の対校戦は終了となりますが、
来シーズンも変わらぬ温かいご声援及びご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



蒼穹ニュース 令和6年度 第7号
令和6年12月09日発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部
編集者：佐向丘（蒼穹ニュース担当副務）
写真担当：濱口姫生・大西智貴・川村拓也

陸上競技部 HP	http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/
陸上競技部記録 HP	http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/kiroku.htm
関西学連 HP	http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm
メールアドレス	sakoh.kyu.56n@st.kyoto-u.ac.jp（佐向）